

A区分・C区分共通  
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽
----	------	----	--------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	3企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじん おおつきのうがくどう		団体ウェブサイトURL
	公益財団法人 大槻能楽堂		<a href="https://noh-kyogen.com">https://noh-kyogen.com</a>
代表者職・氏名	理事長・大槻文蔵		
制作団体所在地	〒 540-0005	最寄り駅(バス停)	国立病院大阪医療センター
	大阪府大阪市中央区上町A番7号		
電話番号	06-6761-8055		
ふりがな 公演団体名	こうえきざいだんほうじん おおつきのうがくどう		団体ウェブサイトURL
	公益財団法人 大槻能楽堂		<a href="https://noh-kyogen.com">https://noh-kyogen.com</a>
代表者職・氏名	理事長・大槻文蔵		
公演団体所在地	〒 540-0005	最寄り駅(バス停)	国立病院大阪医療センター
	大阪府大阪市中央区上町A番7号		
制作団体 設立年月	昭和23年		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長 大槻文蔵 常務理事 大槻裕一 武富康之 理事 赤松禎友 天野文雄 出田善蔵 大槻久実子 齊藤信隆 宮辻政夫 他 監事 植田卓 西田隆郎	評議員11名により役職員(理事・監事)を選任。任期は2年(理事)、4年(監事)とするが再任を妨げない。評議員の選任及び解任は、評議員選定委員会において行う。	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	武富康之
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名	佐々木奈津美
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	<a href="mailto:y-taketomi0928@outlook.jp">y-taketomi0928@outlook.jp</a>		

<p><b>制作団体沿革</b></p>	<p>昭和10年に故・大槻十三(初代理事長)が建設した大槻能楽堂を前身とし、昭和23年に舞台・装束・能面等を個人から寄附して財団法人を設立、正式名称を財団法人大槻清韻会能楽堂に改める。昭和31年には大阪府芸術章を受賞。その後老朽化が進み、昭和58年、舞台をそのまま組み直し、全国初椅子席にして建替え、現在の形となる。平成17年6月、財団法人大槻能楽堂に名称変更。平成23年4月内閣府より移行認定を受け、公益財団法人大槻能楽堂に名称を変更。令和元年より設備の老朽化により部分的改修を行いながら運営している。</p>			
<p><b>学校等における公演実績</b></p>	<p>平成19～21年「本物の舞台芸術体験事業」、平成22年「子どものための優れた舞台芸術体験事業」、平成25年「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」、平成26～平成30年「文化芸術による子供の育成事業」、令和元年～令和3年「文化芸術による子供育成総合事業」にて、約15年に渡って公演実績あり。学生能楽鑑賞を年間10公演程度、約60年間にわたって実施。大阪府下の高校等を招き、鑑賞の手引きを配布し解りやすい解説後に能を上演。自主公演では夏休み親子教室も実施し、小学生向けの内容も企画があります。</p> <p>令和元年度 「巴」大教大付属天王寺高校 / 「葵上」清教学園 / 「土蜘蛛」梅花高等学校 / 玉造小学校WS 等</p> <p>令和2年度 「土蜘蛛」梅花高等学校 / 玉造小学校WS 等</p> <p>令和3年度 「土蜘蛛」梅花高等学校 / 「葵上」清教学園 / 玉造小学校WS 等</p> <p>令和4年度 「巴」大教大付属高校天王寺校舎 / 「葵上」清教学園 / 玉造小学校WS 等</p> <p>令和5年度 「葵上」清教学園 / 「未定」明星学院 / 玉造小学校WS 等</p>			
<p><b>特別支援学校等における公演実績</b></p>	<p>平成22年度 長崎県立大村特別支援学校</p> <p>平成25年度 山梨県立盲学校</p> <p>平成28年度 福井県立福井特別支援学校</p> <p>平成29年度 東京都立北特別支援学校 大阪府立中央聴覚支援学校ワークショップ(大槻能楽堂にて)</p> <p>平成30年度 茨城県立北特別支援学校</p> <p>令和5年度 福岡県立小倉聴覚特別支援学校(予定)</p>			
<p><b>参考資料の有無</b></p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>		
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p><a href="https://youtu.be/MThigBO-Ggk">https://youtu.be/MThigBO-Ggk</a></p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>		
		<p>PW:</p>		

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 公益財団法人 大槻能楽堂】

対象	小学生(低学年)	○		
	小学生(中学年)	○		
	小学生(高学年)	○		
	中学生	○		
企画名	楽しい！面白い！能「土蜘蛛」で能楽体験			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>演目 能「土蜘蛛」 作・不明 総合演出「大槻文蔵(人間国宝)」</p> <p>その他 オープニング演奏 能楽解説映像鑑賞 謡に挑戦 開催校の校歌能versionを生徒と共演 エアで能の楽器体験 実際に能面を付けて舞台を歩こう！選抜生徒数名による能面体験(コロナ対策に応じて実施) 能面や小道具でクイズ 登場人物を当てる 能「土蜘蛛」あらすじ解説</p> <p style="text-align: right;">公演時間 100 分</p>			
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある 場合	権利者名	許諾確認状況	
演目概要	病気で臥せる源頼光のもとへ、夜も更けた頃、見知らぬ法師が現れ、病状はどうか、と尋ねる。よく見るとその姿は蜘蛛の化け物で、千筋の糸を繰り出す。頼光は、名刀、膝丸を抜き、斬りつけると、法師はたちまち姿を消してしまう。頼光の侍臣独武者が駆けつけると、頼光は事の次第を語り、蜘蛛の化け物を成敗するよう、独武者に命じる。土蜘蛛の血をたどっていくと、化け物の巣とおぼしき古塚があり、その中から土蜘蛛の精が現れる。土蜘蛛は千筋の糸を投げかけるが、大勢で取り囲み、ついに土蜘蛛を退治する。			
演目選択理由	能楽は「舞台芸術」「演劇」であること、又、能楽から現在も昔も変わらぬ「人の心の喜怒哀楽」を伝えたいと考えています。能「土蜘蛛」は能の中で一番の人気曲といってもよい曲であり、初心者向け、子供向けの公演でも多く上演されております。また歌舞伎や文楽等、後の芸能にも影響を与えた曲であり、能楽から演劇のルーツを探ってもらえると考えました。又、この演目の演出は蜘蛛の巣の糸が縦横無尽に放たれ、複数人が切り合うといった派手さがあります。初めて触れるであろう能楽を演能中集中力を切らすことなく、印象深く鑑賞してもらえると考え選択いたしました。			
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態	<p>観客としてだけでなく、出演者の気持ちになれるよう、全員で観て聞いて体験する公演であるように考えています。</p> <p>◆謡(うたい)体験・・・全校生徒で校歌(もしくは童謡)の謡に挑戦し、全校生徒で能楽師の囃子に合わせ謡い能楽師と共演。</p> <p>◆囃子(はやし)体験・・・能楽に使用する楽器(主に鼓)をエア楽器(楽器を持たずに)でリズムなどを体験し、能楽師の謡に合わせ、生徒が練習したエア楽器と合わせ、能楽師と共演。</p> <p>◆実際の能面を、選抜して頂いた生徒数名が身に付け、舞台を歩く体験をします。能面体験をする事により、2部の鑑賞に繋がります。</p> <p>◆クイズに参加 能面や小道具のみを使用した紋付き姿の能楽師を見て、どんな登場人物かをクイズ形式で考えながら参加します。</p> <p>◆能楽鑑賞 能「土蜘蛛」を短縮形式で鑑賞参加。</p>			
出演者	<p>シテ方 ☆大槻文蔵・○赤松禎友・○上野雄三・○齊藤信輔・○武富康之・○山本博通・大槻裕一 等 (シテ1・シテツレ1・地謡6・後見2・働2) 全12名</p> <p>ワキ方 ○福王和幸 福王知登 等 (ワキ1・ワキツレ1・働1) 全3名</p> <p>囃子方 ○竹市学・○清水皓祐・○山本哲也・○中田弘美 等 (笛1・小鼓1・大鼓1・太鼓1) 全4名</p> <p>狂言方 ○善竹隆司・○善竹隆平 (アイ1・働1) 全2名</p> <p>☆は重要無形文化財(各個認定・人間国宝) ○は重要無形文化財保持者 ※能楽界第一線で活躍している能楽師を主に、他のメンバーも交え日程を考慮した上で構成</p>			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 む	出演者: 21 名	運搬	積載量: 7 t	
	スタッフ: 7 名		車長: 3 m	
	合計: 28 名		台数: 1 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	9時	9時～12時	13時30分～ 15時10分	10分	15時30分～ 17時30分	17時30分
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。					

本公演 実施可能日数目安  ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	5日	5日	5日	5日	5日	
	11月	12月	1月	計	40日	
	5日	5日	5日			
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	400名程度(全員による謡共演があるため)
		鑑賞人数目安	400名程度(フロアサイズによる)



※基本  
体育館横方向に特設能舞台を設置  
舞台設置に必要な面積  
約8m×11m

公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。



※能「土蜘蛛」  
上演の様子

## 【公演団体名 公益財団法人 大槻能楽堂 】

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	150名程度(応相談)
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>能楽師数名が訪問し、子供達と交流します。</p> <p>① オープニング演奏 謡の体験で使用する曲を演奏し、子供たちの興味を引き付けます。</p> <p>② 能についてのお話 能の歴史・能の登場人物・囃子の解説にパネルを使用して、クイズ形式でレクチャーします。</p> <p>③ 囃子(はやし)のお話・体験 (小学生向け)囃子の解説では、楽器の成り立ちだけでなく、エア(口や身振り)で楽器体験。 (中学生向け)さらに、指揮者がいない能の舞台上、楽器演奏者がどのようにして、音を併せているのかを、生徒をグループにわけレクチャーし、最後に合奏(合唱)することで、囃子方のコミュニケーションの取り方を学んでもらいます。(ドラムセットをシンバル・バスドラム・スネアドラム等それぞれにわけて練習し、最後に音を合わせるイメージです)</p> <p>④ 謡(うたい)体験 能楽の基本となる謡を体験。 開催校の校歌にフシをつけ謡にアレンジしたものに挑戦。謡を身近なところから学んでもらいます。 (本公演ではワークショップ体験者の中から代表者を選んでもらい、舞台上に上がり、全校生徒の音頭をとってもらい、謡の合唱を開催)</p> <p>⑤ 能の小道具作成(オリジナル能面制作) 「能楽」の代表的な小道具である能面を、専用紙を用いて作成して頂きます。 作成する能面・小道具は本公演で登場する(主に主役)役に併せて作成することで、本公演への理解を深めます。 作成過程では、能楽師も生徒の輪に参加することにより、子供たちと交流も図れます。作成した小道具は、後の型の体験に使用いたします。</p> <p>⑥ 型の体験 完成した能面をつけ、能の動き「型」などを体験。 (休憩含む100分程度) その他にWS時間によって、⑦ 質疑応答 を組み込むことが可能です。 ※⑤能の小道具作成をご希望で無い学校の場合などは⑥型の体験や⑦質疑応答、③の「エア楽器」等の体験の内容を増やしたり、謡・仕舞・囃子などのお稽古を中心とした内容に変更することも可能です</p>		
<p>ワークショップのねらい</p>	<p>ねらい:本公演の能楽鑑賞がより興味深く、楽しく印象に残るよう企画。</p> <p>お話、説明の後に、「実際にやってみる」ことを多く取り入れていきます。 能楽師と楽しく触れ合い、実際に能面を作成し、謡や型に挑戦することで、演劇の中でも敬遠されがちな「能」をより身近に感じることができます。 またやってみることで、能の難しさも面白さも、身を持って感じて頂けることでしょう。 事前にこうした体験をすることで、本公演の能楽鑑賞の興味をより引き出します。</p>		
<p>その他ワークショップに関する特記事項等</p>	<p>◆クイズ形式で能の登場人物紹介:写真パネルに能の登場人物を紹介。 クイズ形式で能楽師とのコミュニケーションを図ります。</p> <p>◆囃子の体験:エア楽器(楽器が実際にあるように自分の声と身振りで演奏する)で楽しく、体験して頂きます。</p> <p>◆謡体験:昔は親しまれていた謡を身近な歌詞からアプローチ。知っている“歌”から学ぶ事で、印象に深く残ると考えました。</p> <p>◆能の小道具作成(オリジナル能面制作): 能で使用する代表的な道具である能面を、専用紙を使用し、世界で一つの能面を作成し、登場人物に扮装してもらいます。</p> <div data-bbox="1098 1626 1453 1877" data-label="Image"> </div> <p>《体験紹介コンテンツ》 YouTube大槻能楽堂チャンネル 「楽器がなくてもお稽古ができる 能楽囃子体験シリーズ」 <a href="https://youtu.be/OiJTMwS5mw">https://youtu.be/OiJTMwS5mw</a></p>		

本事業への申請理由

【公演団体名 公益財団法人 大槻能楽堂】

## ①本事業に対する取り組み姿勢

能楽は日本の伝統芸能で現存する世界最古の演劇であり、ユネスコ無形文化遺産に登録された能楽を、より広く全国的に幅広い層に認知して頂くために、本事業に継続して申請しております。

本事業は能楽堂が点在する、都内や大阪市内だけでなく、地方や離島にも巡回することができ、また地域の子供に能のアプローチができることから、「次世代に対する能の普及」を目標に掲げる本事業の活動目標を、実現させれる事業であると考えております。

又、当能楽堂では「本物の芸能を子供たちに体験していただく」ことも目標に掲げています。この事業で初めて能楽に触れ知ることが多いと思いますので、その最初の能楽鑑賞の際に、能楽堂の雰囲気も伝わるようにと、特設の能舞台を設置し、能楽堂がない地域でも、少しでも能楽堂で能を鑑賞しているような、雰囲気を味わっていただくことを第一にしております。舞台の雰囲気はもちろん、能をわかりやすく・楽しく鑑賞いただくため、能楽について簡単にまとめた映像の上映や体験を通して伝統芸能、ひいては舞台芸術の面白さを発信いたします。

また、本事業は巡回する担当のブロックが細分化されているため、遠方でも効率よく演能することが可能になります。

伝統芸能の次世代への継承、舞台芸術による豊かな感性の育成を促進させるために、初等教育及び中等教育段階で、舞台芸術を実際に鑑賞することは、子供たちの今後の人生において、重要な経験になると考えております。

また、この活動で日本の文化に触れる機会を得ることで、今後ますます加速すると思われる国際化に対応出来るよう、自国のみならず他国の文化への興味、また理解力を養うきっかけとなるような公演を目指しております。

その機会を全国的に提示することが可能になるため、毎年継続して取り組んでおります。

## ②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

事前に資料の配布 及び 準備の簡略化

大人でも能楽に触れたことがないかたが多くなってきているため、能鑑賞を希望される実施校の先生にも、事前に能についての簡単な事柄や、詳細な実施内容を配布するようしております。

これまでの実施校の先生方のなかには、先生ご自身が能について詳しくないため、生徒に鑑賞させる自信があまりないという方もいらっしゃいました。

こうした不安要素を取り除き、先生方のご理解のもと能楽鑑賞を楽しめる環境にするために、資料の配布や密な連絡を心がけております。先生のご協力がより良い公演につながり、子供たちの楽しい芸術鑑賞へとつながると思っております。

また、ワークショップ・本公演で使用する物は、なるべく実施校の準備や負担を最小限にするために、実施内容や公演をシンプルなものにしながらも、その中で楽しめるものに重点を置きました。

例えばワークショップの能面作成では材料・紙製の能面を当方が準備し、実施校に送付。

実施校側は生徒が普段使用している画材さえ持参すればいいような構成になっております。

担当の先生には、謡体験のための校歌を当方に送信するといった手順は必要ですが、時間を有効に、なるべく先生の日常業務の妨げにならないよう心掛けております。

また、本公演の最後には紙製能面を宿題として配布します。

事後学習として、生徒達に再度“能”にふれる時間をもってもらうため、思い出として「家族に今日見て聞いた事を伝えて下さい」と配ります。(作り方使用方法も説明。)

思い出し、伝えてもらう事により、この舞台鑑賞が心に残ると考えています。

本事業に対する  
取り組み姿勢、および  
効果的かつ円滑に実施  
するための工夫